

# 脳神経外科【Stage 1】

## Stage1 について

### 1. 実習の基本方針（目的・到達目標）

講義で得た知識を実際の臨床の場で再認識、再構築することで、さらに深め、脳神経外科疾患の診断及び治療の考え方の基本を体得する。

### 2. 実習の方法（内容・行動指針）

最初のオリエンテーション後に、担当疾患と担当患者さんを決め、疾患の基礎を学び、1 週目の終わりに学生間での疾患のプレゼンテーションを行い、相互質問で理解を深める。

患者さんを 2 週間担当することから、脳神経外科疾患について学んでいく。またその患者さんの担当医からの、マンツーマンの指導のもとに病棟での実習を行う。

最終日に受持患者さんの中から 1 例を選んでレポートにまとめ、発表する。

### 3. 実習上の注意事項

- 1) 服装は清潔にし、不快感を与えないものとする。
- 2) 患者さんには誠意をもって接する。知り得た情報は他言しない。
- 3) 患者さんの質問には自分の判断で答えない（主治医に連絡する）。
- 4) 社会人の基本として時間を厳守し、節度ある態度で臨む。

### 4. 「医学生の実習における医行為と水準」の例示

- 1) レベルⅠ：指導医の指導・監視の下で実施されるべき  
病歴聴取・問診、簡単な器具を用いた神経学的検診  
診療記録記載  
清潔操作：ガウンテクニック、静脈採血、縫合・抜糸など
- 2) レベルⅡ：指導医の実施の介助・見学が推奨される
  - ① 動脈採血、皮内・皮下・筋肉・静脈注射 など
  - ② 腰椎穿刺、中心静脈カテーテル挿入など

## 5. 実習スケジュール

| 曜日  | 担当教員                    | 実習内容（午前）                    | 実習内容（午後）                            |
|-----|-------------------------|-----------------------------|-------------------------------------|
| 第1月 | 藤木 教授<br>秦 准教授<br>阿南 教員 | オリエンテーション<br>病棟紹介・実習        | 病棟実習<br>ミニレクチャー（基礎編）<br>ミニレクチャー（小児） |
| 火   | 森重 教員<br>靱井 教員<br>川崎 教員 | 手術見学・実習                     | 手術見学・実習<br>ミニレクチャー（水頭症）             |
| 水   | 松田 教員<br>大西 教員<br>札幌 教員 | 手術見学・実習                     | 手術見学・実習<br>ミニレクチャー（機能）              |
| 木   |                         | 病棟実習<br>（教授回診）<br>脳血管撮影検査見学 | 病棟実習<br>ミニレクチャー（外傷）                 |
| 金   |                         | 手術見学・実習                     | 手術見学・実習<br>疾患プレゼンテーション              |
| 第2月 |                         | 病棟実習<br>外来実習                | 病棟実習<br>ミニレクチャー（虚血性<br>脳血管障害）       |
| 火   |                         | 手術見学・実習                     | 手術見学・実習<br>ミニレクチャー（脳腫瘍）             |
| 水   |                         | 手術見学・実習<br>外来実習             | 手術見学・実習<br>ミニレクチャー（出血性<br>脳血管障害）    |
| 木   |                         | 病棟実習<br>（教授回診）<br>脳血管撮影検査見学 | 病棟実習                                |
| 金   |                         | 手術見学・実習                     | 最終発表・総括                             |

※ 集合時間・・・午前8時

※ 集合場所・・・病院2階 脳神経外科カンファレンスルーム

（大学病院外実習は別途指示）